

「(仮称)神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業」
の公共事業事前評価調書(案)に対する市民の皆さまからのご意見の内容と
ご意見に対する横浜市の考え方

○横浜市公共事業評価事前評価における市民意見

募 集 期 間：平成29年10月2日(月)～平成29年11月2日(木)

意見提出者数：5名

お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する横浜市の見解を、次のとおりまとめました。
今後の詳細な設計に対するご要望を趣旨とするご意見でしたので、事前評価調書は修正無
しとし、確定しました。

○お寄せいただいたご意見と横浜市の見解

5名からお寄せいただいたご意見を、公共事業事前評価調書(案)の項目にあわせて分類
(15件)し、本市の見解とあわせて整理いたしました。

なお、分類したご意見は、公共事業事前評価調書(案)の項目別に整理し、提出された順
に、原則、全て原文のまま掲載しています。

No.	ご意見(15件)	ご意見に対する横浜市の見解
(1)意見提案		
1	<p>現在計画されております、施工ヤードを児童公園施設がある以外の場所（野球グラウンド）に計画してほしい。可能でない場合は、岡野公園内（野球グラウンド）に同様（児童公園施設）な場所を確保してほしい。</p>	<p>横浜駅周辺の治水安全度向上には、新設する雨水幹線に地区内の雨水管を接続する必要があります。また、雨水幹線は地下約60mに布設するため、シールド工法での施工になり、広い作業ヤードが必要となります。これらの条件から、岡野公園を作業ヤードとして利用する計画としています。</p> <p>作業ヤードの範囲や位置については、今後、詳細な設計を行う中で検討していきます。</p> <p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>
2	<p>事業設計を進めるに当たりご検討をお願い致します。</p> <p>①公園広場は1年365日、雨の日を除いて子ども達の遊び場です。一日を通して入れ替わり立ち代わり子ども達が遊びに来るところです。特に午前中は多くの保育園の子ども達や親子連れ、午後は放課後の小学生。ご存知の通り、この地域（平沼・岡野周辺）で唯一の公園です。平沼地区には一つも公園はありません。子ども達の体力維持、増進にとっても公園は欠かすことのできない場所です。子ども達の遊び場を奪ってはいけません。</p> <p>②高齢者にとっても憩いの場所であり、コミュニケーションの場です。近隣の介護施設の入所者は車イスに乗り、高齢者はベンチに座り憩いの場所として利用しております。高齢者の憩いの場を奪ってはいけません。</p> <p>③工事により公園広場は、10年以上長期間にわたり利用できなくなることを考慮してください。</p> <p>④公園広場からの工事車両出入口は岡野中学校校舎前になります。教育環境を守る視点から平沼高校グラウンド側へ移動してください。</p> <p>提案</p> <p>1 岡野公園に作業ヤードをどうしても造るなら、岡野公園野球場に造ってください。公園広場は子ども達や高齢者の居場所です。</p> <p>2 公園広場に作業ヤードを造るなら、一年を通して野球場を子ども達の広場に開放してください</p>	<p>横浜駅周辺の治水安全度向上には、新設する雨水幹線に地区内の雨水管を接続する必要があります。また、雨水幹線は地下約60mに布設するため、シールド工法での施工になり、広い作業ヤードが必要となります。これらの条件から、岡野公園を作業ヤードとして利用する計画としています。</p> <p>作業ヤードの範囲や位置については、今後、詳細な設計を行う中で検討していきます。</p> <p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>

	い。一年通して野球をする人数と子供の利用人数を比較してみてください。	
3	<p>・岡野公園を作業ヤードにするにあたって、子ども達の遊び場と安全の確保(平沼方面には岡野公園サイズの公園がなく、多くの子ども達が遊びに来ています。)</p> <p>・通学路となっている岡野公園周辺道路の安全対策(小中学生だけでなく、未就学児も多数通ります。)</p> <p>以上の点が気になっており、考慮して頂きたいと思います。</p> <p>どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>横浜駅周辺の治水安全度向上には、新設する雨水幹線に地区内の雨水管を接続する必要があります。</p> <p>また、雨水幹線は地下約60mに布設するため、シールド工法での施工になり、広い作業ヤードが必要となります。これらの条件から、岡野公園を作業ヤードとして利用する計画としています。</p> <p>作業ヤードの範囲や位置については、今後、詳細な設計を行う中で検討していきます。</p> <p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>
4	<p>事前調査調書を拝見させていただきまして、意義のある重要な事業とお見受けいたしました。</p> <p>また、周辺住民へのご配慮もいただけるとのことでしたので有り難く拝見いたしました。2点だけ特にお願いをさせていただきたいことがあります。</p> <p>岡野公園の一部がシールド工法の基地となるとの事ですが、</p> <p>*岡野公園に替わる子どもの遊び場の整備</p> <p>*通学や帰宅時間帯のトラック搬入・搬出の制限以上の2点をお願いさせていただけたらと思います。</p> <p>すでに構想がお有りのこととは思いますが、特別なご配慮をいただけますよう、どうか引き続きよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>横浜駅周辺の治水安全度向上には、新設する雨水幹線に地区内の雨水管を接続する必要があります。</p> <p>また、雨水幹線は地下約60mに布設するため、シールド工法での施工になり、広い作業ヤードが必要となります。これらの条件から、岡野公園を作業ヤードとして利用する計画としています。</p> <p>作業ヤードの範囲や位置については、今後、詳細な設計を行う中で検討していきます。</p> <p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>
5	図のスケール、←1km→をいれてはどうか。	いただいたご意見は、参考にさせていただきます。
6	<p>概算事業費は410億円と一見高いですが、過去の事例を参考までに記述してはどうか。</p> <p>例として、帷子川分流路</p>	<p>概算事業費は、本市の下水道工事の実績等を踏まえて算出しています。</p> <p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>
(2)意見ではなく質問だったもの		
7	雨水ポンプ場が深さ60mとあるが、これは新規に作る、東高島ポンプ場の雨水配管先端の深さと理解したが、それでよいか？深さ60mにポンプ本体を置くのではなさそう。	<p>新設する雨水幹線は、横浜駅周辺の地中に整備し、地下鉄など様々な地下構造物を避ける必要があることから、約60mの深さとなります。そのため、東高島ポンプ場への接続深さも約60mとなり、この深さからの雨水排水が必要となることから、ポンプ場の深さについても約60mとなります。詳細については、今後、設計を行う中で検討していきます。</p>

8	60mも掘り下げる理由は、地下鉄などの構造物があるからですか？地下鉄との距離を取る。（リスク回避） シールドで掘るのだから、幹線の工事は深さに関係がない。	新設する雨水幹線は、横浜駅周辺の地中に整備し、地下鉄など様々な地下構造物を避ける必要があることから、約60mの深さとなります。
9	「立坑は深いほうがコスト高いが、大した差はない。深いほうがリスク少ない」ですか？	新設する雨水幹線の整備に必要な立坑の深さとしています。
10	各区のハザードマップ、内水では何メートルの浸水か？	西区の内水ハザードマップにおいて、横浜駅周辺は最大で50cm～1.0mの浸水深を想定しています。
11	410億円は、物価上昇をどの程度見込みましたか？平成42年竣工ですから、13年後。消費税も10%では不足し、12%とか？物価は上がると考えます。	総事業費は、過去の施工実績などから算出した、物価上昇を見込んでいない、消費税抜きの事業費です。なお、資材価格や人件費の変動などにより、今後、事業費が変動することが考えられます。
12	イメージ図に保土ヶ谷ポンプ場がない。高島取水とあるが、6ページの表にも、案内図にもない。	ページ2のイメージ図は30年確率降雨の対象となる取水箇所を示しています。保土ヶ谷ポンプ場は対象外のため、記載していません。 また、高島取水は、横浜駅東口における補助幹線からの取水を示しているため、6ページには記載していません。
13	ポンプ場があまりイメージがわかりません。建屋、ポンプ本体、配管、電気設備（配電盤）、制御通信装置（室）、付帯設備、倉庫、自家発電装置及び燃料倉庫。これ以外にありますか。	一般的なポンプ場は、雨水や汚水をくみ上げるポンプ設備や、流れをコントロールするゲート設備、ごみや砂を取除く除塵設備や沈砂池設備、それらを動かす電気設備等が設置され、停電になった時のために非常用発電設備が設置されています。
14	国庫補助は過去事例でどのくらいでしたのでしょうか？帷子川分水路ではいくらか？何パーセントか？	公共下水道事業の管きよ、ポンプ場等の国費率は1/2（50パーセント）です。 なお、帷子川分水路については、神奈川県施行のため、把握していません。

(3)本事業以外の意見や質問だったもの

15	優先順位は何を測定、観察して決めるのかを明確にしてほしい。床上浸水数個数なのか、床上浸水と床下浸水の和なのか。総合的に判断するのか、それは道路冠水とか重要施設、福祉施設があるとか。 被害情報を定量的に提示してほしい。 一例、平成16年台風18号による床下浸水戸数 飯島町 ○○ 俣野町 △△ 戸塚町 ～略	横浜駅は、複数の鉄道が乗り入れており、市内最大の地下街があるなど、横浜への来街者や観光客を受け入れる玄関口であり、市民・事業者の皆様にとって重要な地域です。また、平成16年10月の台風22号で甚大な浸水被害が発生したことなどから、この度の事業を実施するものです。 いただいたご意見は、今後の浸水対策の参考にさせていただきます。
----	---	--

<p>汚水の被害の対策は、雨水浸水対策（費用）と別計画（予算）で設計の不良（配管引き回しが長い）と、施工の不良（誤接）両方あると推測します。次期中期計画にに入れてほしい。具体的には</p> <p>「雨水→汚水管」の誤接続の調査と改修</p> <p>調査で不明であれば、旧俣野小（付近の谷戸川沿い）にバイパス管の設置、追加</p> <p>谷戸川は市有地ですから工事だけです。大した費用はかかりません。</p> <p>目標、平成 30 年から 10 年で浸水地区を半減してほしい。現在の中期計画では遅い。</p> <p>一例、降雨 50 mm では、122 地区あり、3 年で 11 地区できるから、残りの 50 地区を 10 年で、整備。</p> <p>60 mm 地区も同じ。</p>	
--	--